

## 温室効果ガス削減計画

## 1 事業の概要

## (1) 事業所の名称

東邦契島製錬株式会社

## (2) 事業所の所在地

広島県豊田郡大崎上島町東野5562-1

## (3) 業種

2319 その他の非鉄金属1次精錬・精製業

## (4) 事業所位置図

別紙のとおり

## 2 計画の期間

本計画の期間は平成25年度を基準年度とし、令和3年度から令和12年度までとする。

## 3 計画の基本的な方向

## 環境理念

東邦亜鉛グループは、地球環境保全への取り組みを重要な経営課題として捉え、責任ある企業市民として将来にわたって住みよい社会を形成するために地域社会と良好なコミュニケーションを保ち、環境負荷低減、地球温暖化防止、および生物多様性の保全等の環境改善活動に取り組みます。

## 環境方針

1. 環境マネジメントシステムを運用して、環境目的、目標を定め、さらに定期的見直しによって継続的な環境保全に努めます。
2. 環境関連法規に加え自主管理基準を遵守し、環境汚染の防止をはかります。
3. 事業活動が地域社会に及ぼす影響を認識し、全従業員の環境保全意識向上のために、労使ともに相互信頼信頼と責任を持って、環境教育、啓蒙活動を行います。
4. 限りある資源の有効利用と環境負荷低減、地球温暖化防止、および生物多様性の保全に努めます。
5. この環境方針を東邦亜鉛グループ全従業員に周知するとともに、一般にも公開します。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( 25 ) 年度	令和 ( 2 ) 年度
二酸化炭素	116,542	109,364

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 ( ) 年度	令和 ( ) 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF6 NF3 )		

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 年度)	削減目標		目標年度 (令和 12 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	116,542	38.0	44,285	72,257
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	基準年度2013年（平成25年度）として2030年度（令和12年度）までにGHG排出量を38%削減する。			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

削減率 (%)

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度 ( ) 年度 (平成 ( ) 年度)		削減目標 原単位 削減率	目標年度 ( ) 年度 (令和 ( ) 年度)	
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)		排出量 (e)	原単位 見込 (f)
エネルギー起源CO2			0.0		
非エネルギー起源CO2			0.0		
メタン			0.0		
一酸化二窒素			0.0		
その他 温室効果ガス			0.0		
総排出量			0.0		
(原油換算 k l) エネルギー消費原単位	-	-	0.0	-	-
目標設定の考え方	目標設定の考え方				

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	エネルギー転換	▲3,000 t-CO <sub>2</sub>	使用燃料をA重油をLNGに転換。2023年度から3か年計画で実施予定。
2	電気使用量削減	電気使用量5%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷暖房温度の適正管理</li> <li>・ 省エネ型設備への更新</li> <li>・ 高性能インバーター機器への更新</li> <li>・ 各工程、設備の適正管理</li> </ul>
3	コークス使用量削減	コークス使用量40%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替えコークス（バイオコークス）試用</li> <li>・ プロセス変更の検討</li> </ul>
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

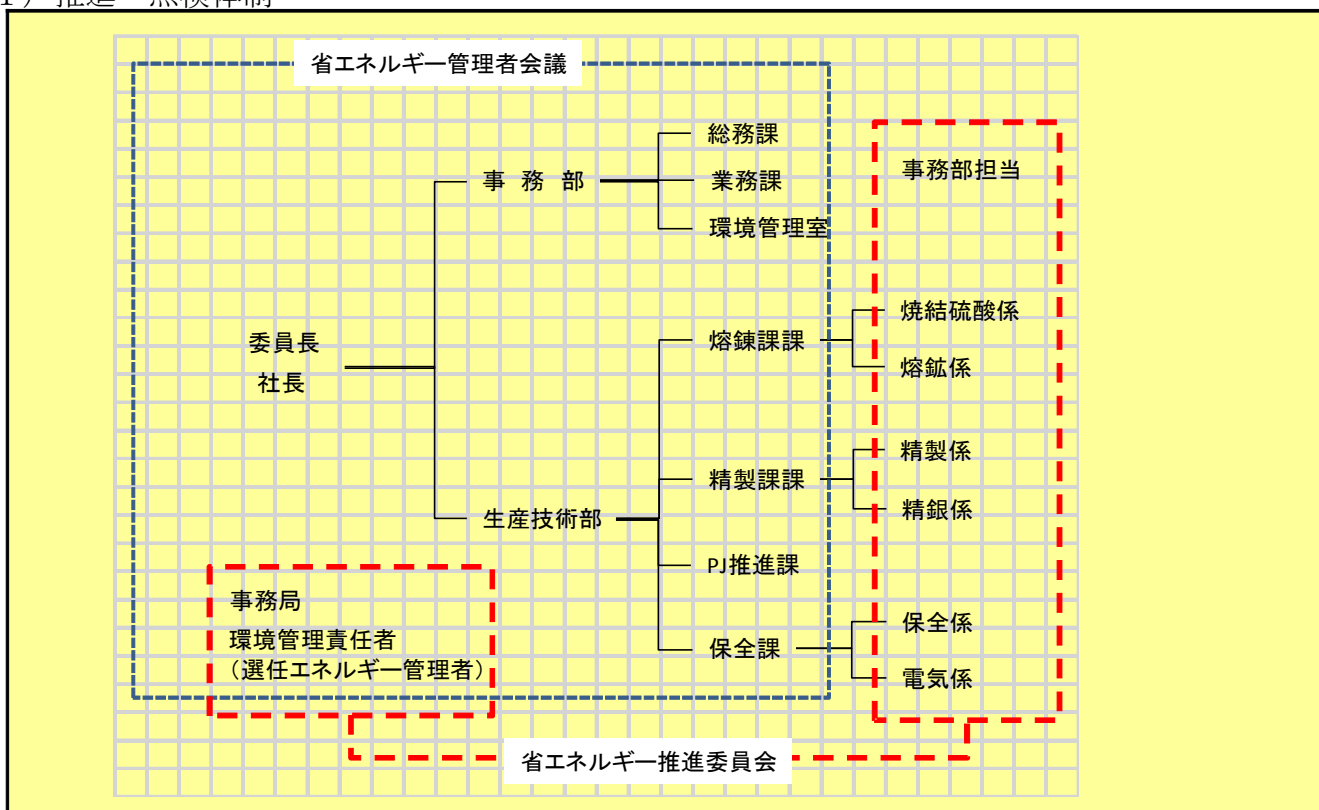
### ○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

選任エネルギー管理者を中心として、省エネルギー推進委員会にて定期的な温室効果ガス削減計画の取組状況の把握と問題点の検討を行い、省エネルギー管理者会議にて評価・見直しを行うことで、省エネ及び温室効果ガス削減活動を継続的に推進する。

### (3) 計画書等の公表

社内備え付けによる閲覧及び親会社東邦亜鉛(株)ホームページでの環境報告書の掲載